

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	素描	2	3	セラミック	選択	初めてでも楽しくできる デッサンの基本 ナツメ社

1. 学習の到達目標

<p>素描（デッサン）をする上で必要な道具に関する基礎的な知識はもとより、物の形と調子についての知識と技術を習得し、物を鉛筆という道具で表現する能力を学びます。また、対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫し、美しく表現する能力を学ぶことができます。</p>

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	素描の知識と技術について関心をもち、意欲的に創造活動に取り組み、実践的な態度を身に付けている。	基礎的、又は応用的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現することができる。	素描に関する基礎的、応用的な技術を身につけ、造形感覚や感性を働かせることができる。	素描に関する基礎的、応用的な知識を身につけ、感性や想像力を働かせ、又、美的感覚を養い、理解している。
評価の方法	授業観察、制作態度、課題作品の提出物の状況、などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

<p>陶磁器をデザインする上で必要な伝統的加飾に関する基礎的な知識はもとより、更に応用的な知識と技術を習得させ、実際に創造する能力と態度を育てる科目です。また、デッサンは立体感覚を養うためにも必要です。将来、美術系、造形系に進学する予定の人はぜひ、受講してください。</p>

年間指導計画 科目名 素描 2 単位 3 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
一学期	4	1 模写 2 トーンスケールと平面構成 3 立方体 4 素材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次の復習。線の書き方・使い方。 ・ 立体感を表現する。 ・ 質感、量感を表現する。
	5		
	6		
	7		
二学期	9	5 クロッキー 6 違う素材の組みモチーフ 7 石膏製レリーフのデッサン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面構成の的確な表現をし、目に見えない線（補助線）を考察しながら、全体の形をとることができる。 ・ 形態を画面上にうまく構成し、目に見えない線（補助線）を考察しながら、しっかり形態を見て正確に形をとる能力をみにつける。 ・ 鉛筆（6B・4B・2B・B・H・2H）と練り消しの使い方を理解する。 ・ 石膏の陰影を細部にとらわれずに表現し、立体感や質感をだす技術を身に付ける。
	10		
	11		
	12		
三学期	1	8 3つの組モチーフ 9 人物デッサン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一点・二点透視図法を理解し、モチーフの形をとることができる。 ・ 鉛筆を直角に立てモチーフの大きさや距離を測る事が出来る事を理解した上で正確な形を取る事が出来る。
	2		